

古戦場公園再整備基本計画策定について

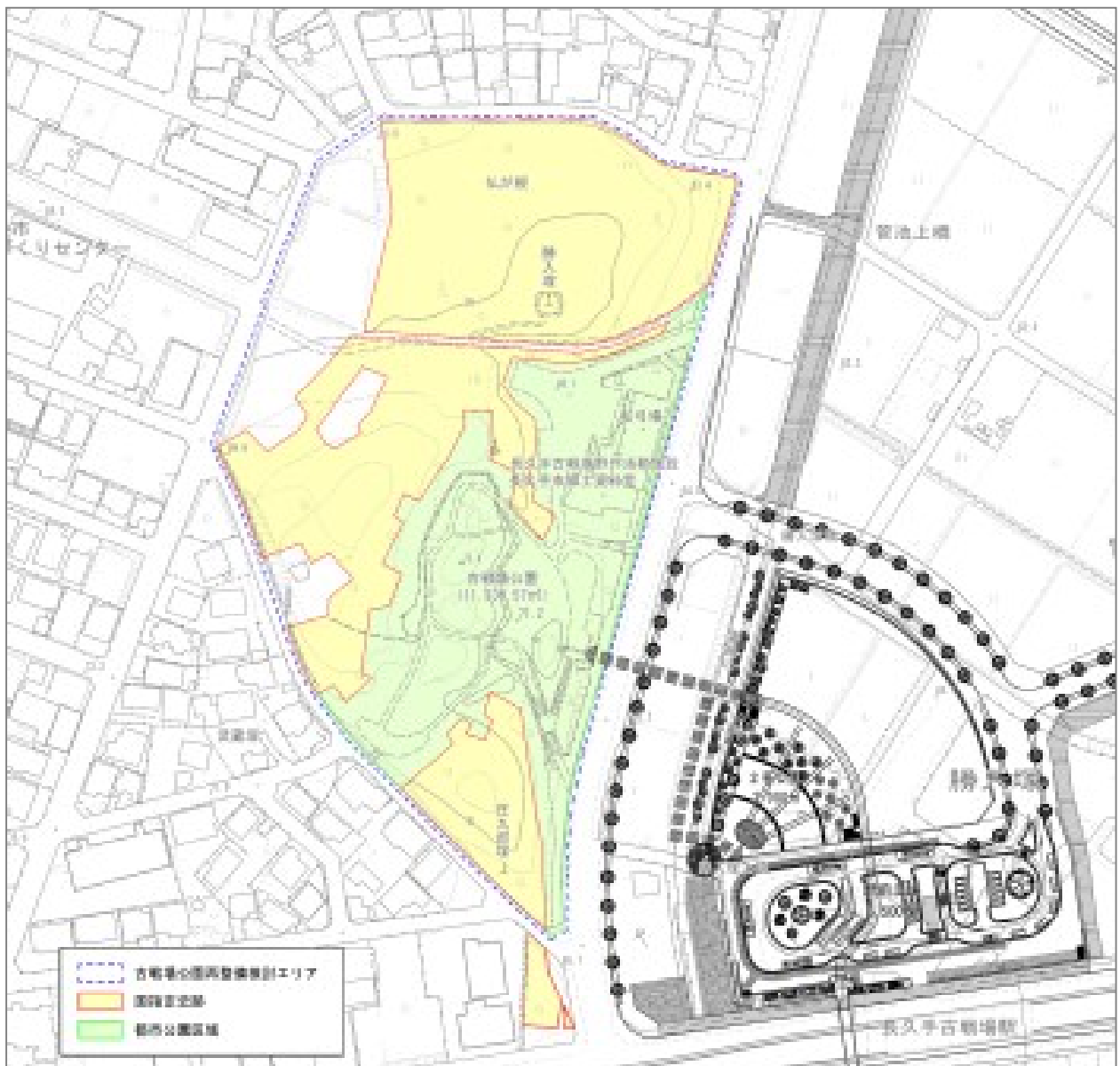
1 古戦場公園再整備基本計画の概要

長久手古戦場野外活動施設の見直しを含め、古戦場公園一帯を有効活用するために、平成26年度に策定した古戦場公園再整備基本構想に基づき、平成27年度から平成28年度にかけて古戦場公園再整備基本計画を策定する。

2 古戦場公園再整備基本計画の内容

国指定史跡「長久手古戦場」保存活用の考え方、計画地の現況把握、長久手市の歴史概要、上位・関連計画の把握、法規制等を整理し、古戦場公園再整備計画を策定する。

3 古戦場公園現況図



4 古戦場公園配置計画図（案）

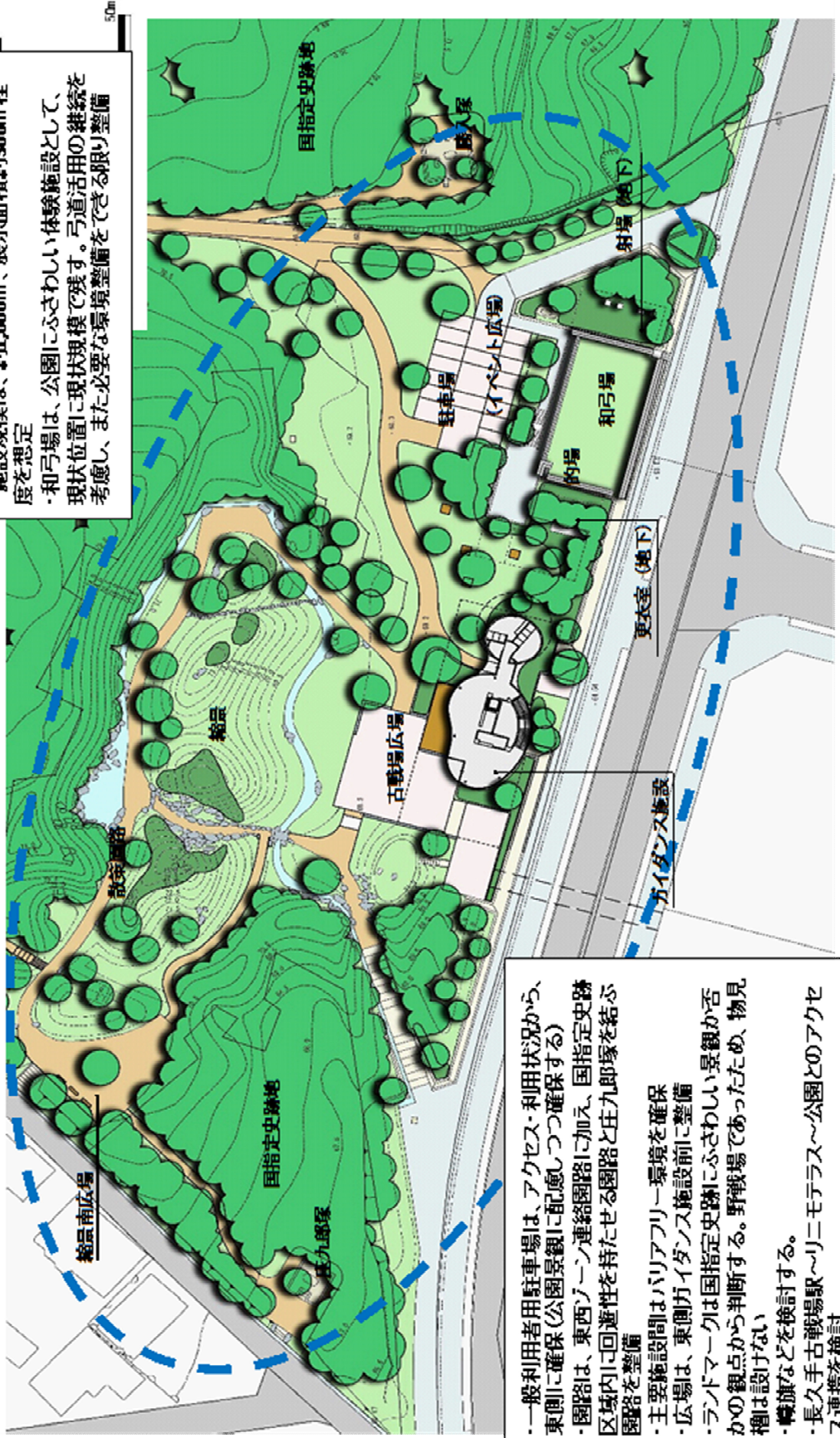


東側ゾーン

・東側ゾーンは、縮景を活用し、古戦場に特化した景観をめざす(ガイダンス棟は縮景と調和した芝生屋根)

・ガイダンス施設は、東側ゾーン縮景東側に設置
施設規模は、約1,000㎡、展示面積約300㎡程度を想定

・和弓場は、公園にふさわしい体験施設として、現状位置に現状規模で残す。弓道活用の継続を考慮し、また必要な環境整備をできる限り整備



・一般利用者用駐車場は、アクセス・利用状況から、東側に確保(公園景観に配慮しつつ確保する)

・園路は、東西ゾーン連絡園路に加え、国指定史跡区域内に回遊性を持たせる園路と庄九郎塚を結ぶ園路を整備

・主要施設間にはバリアフリー環境を確保

・広場は、東側ガイダンス施設前に整備

・ランドマークは国指定史跡にふさわしい景観か否かの観点から判断する。野戦場であったため、物見櫓は設けない

・幟旗などを検討する。

・長久手古戦場駅〜リニモテラス〜公園とのアクセス連携を検討

西側ゾーン



- ・歴史民俗施設・多目的休憩所は西側ゾーンに配置
- ・南庭・納屋・トイレ(厨)も配置し、農村環境を整備
- ・広場は、西側エントランス部に整備
- ・バス駐車場、関係課駐車場を西側ゾーンに確保
- ・西側ゾーンは、雑木林と調和した長久手の伝統的な農家の景観・風景とする。

- ・国指定史跡内の現状変更は最小限に留める。
- ・当時の地形を保存し、雑木林は古戦場公園の景観として保存
- ・园路の整備や危険箇所の改良などについては、文化庁と協議を行い、関連法規に従い整備

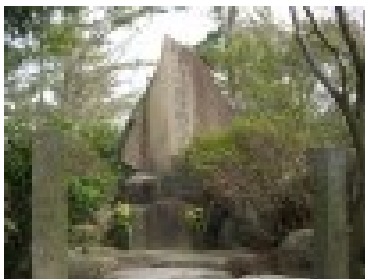
長久手合戦史跡マップ

◆主要史跡コース (3.7km)
 長久手市郷土資料室 → ①勝入塚 → ②庄九郎塚 → ③武蔵塚 → ④鐘掛の松⑤血の池公園 → ⑦長久手城址 → ④御旗山 → ①教圓寺 → ⑥首塚 → ⑧安昌寺 → ⑤色金山
 ※③～④を省くと2.4km、また①②③のみなら50.7kmです。

◆全指定史跡コース (6.9km)
 長久手市郷土資料室 → ①勝入塚 → ②庄九郎塚 → ③武蔵塚 → ①教圓寺 → ⑥首塚 → ⑧安昌寺 → ⑤色金山 → (石作神社) → (岩作城址) → ④御旗山 → ②鐘掛の松③血の池公園 → ⑦長久手城址 → (景行天皇社) → ⑨堀久太郎秀政本陣地跡 → ⑧木下勘解由塚
 ※ ()内は長久手合戦と直接関係ありませんが、歴史的な地点です。

モデルコース

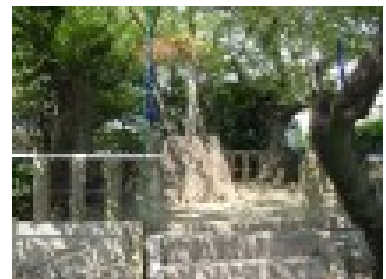
勝入塚



庄九郎塚



武蔵塚



御旗山



床机石 色金山



首塚



木下勘解由塚



堀久太郎秀政本陣地跡

